

【文学部新聞学科】

新聞学科卒業論文作成について

2020.9.7

1. 卒論の作成

指導教員の指導のもと、別途定める「卒業論文執筆要領」に従い卒業論文を作成する。
場合によっては他の教員のアドバイスを求めてもよい。

2. テーマ選択範囲

ジャーナリズム、メディア・コミュニケーションまたは情報社会・情報文化に関する問題で、とくに次の諸点について留意すること。

- a 独自の視点から、独自の問題を研究すること。
- b 対象とする問題は、間口を狭くし、奥行きを深くすること。
- c 間口の広い一般論、他学科にふさわしいテーマはとらない。

3. テーマの決定と履修登録

春学期の演習IVa 開始時期までに、指導教員の指示に従い卒論のテーマ・研究概要等を指導教員に提出すること。履修登録は「演習IVa」と「卒業論文」の両方を登録する必要がある。とくに後者の登録を忘れないこと。

4. 卒論作成の手順

- a テーマ研究について、少なくとも毎月1回指導教員に報告し、その助言を求める。
- b 夏休み前に構想をまとめて概要を決定し、指導教員の承認を得る。
- c 事前に草稿を指導教員へ提出し、点検を受ける。その際指導教員から加筆・修正、書き直しなどの指摘やコメントを受けられればそれに応じる。

5. 卒論の提出

各年度において、学科が指定する卒業論文提出要領に従って提出する。

6. 卒論面接

- a 提出後1か月以内に面接実施要領を掲示発表する。
- b 卒論提出者は全員、指定された日時・場所に集合し面接を受けること。
- c 日時・場所の変更は原則として認めない。

7. 卒論の保管

合格論文は1年間指導教員の研究室に保管し、後進のための参考資料とする。

以上